

# 人手不足は良いこと?悪いこと?

経済調査部 エコノミスト 伊藤 佑隼(いとう ゆうと)

## 強まる人手不足感

足元で人手不足感が強まっています。従業員の過不足を示す日銀短観(2018年3月調査)の雇用判断DIを見てみると、バブル期以来の不足超幅となっており、人手不足が深刻化していることが分かります(資料1)。

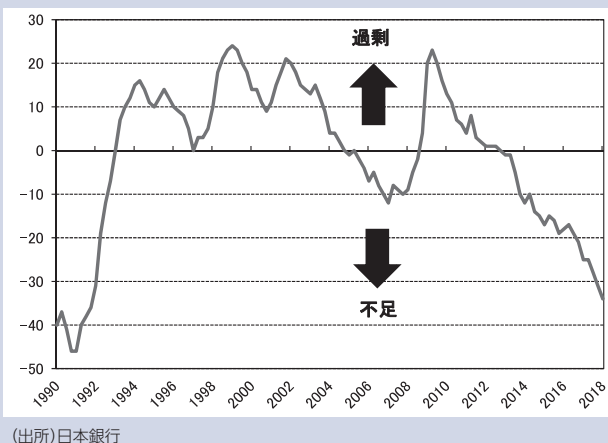
そもそも人手不足は悪いことなのでしょうか。今の日本のように景気が改善していく中で労働需給がタイトになり、人手不足が起きることは労働者にとって良いことと言えます。なぜなら、人手不足に直面している企業は賃金を上げるなど、労働者の待遇を改善することによって人材を確保しようとするからです。人手不足を起因とした賃上げが労働者の所得増加に繋がると考えられます。

## 人手不足による影響は?

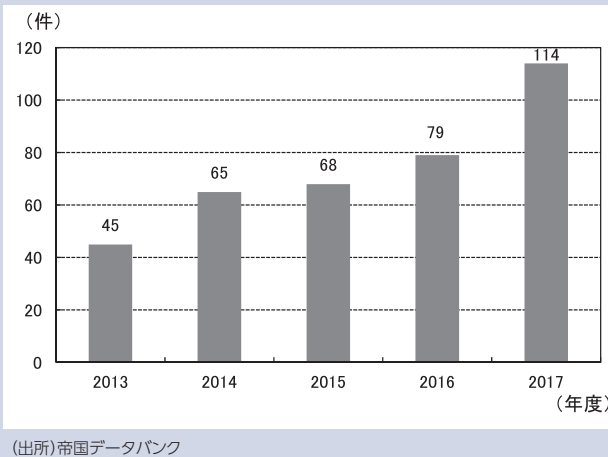
一方で、人材確保のために賃上げすることは人件費の上昇と言う形で企業のコストになります。十分な収益を上げていない企業は人材を確保したいけど賃上げ出来ないというジレンマに直面します。足元では、人手を確保出来なかったことが要因となって倒産した企業が増えています(資料2)。人手不足による倒産件数は、2013年度には45件でしたが、2017年度には114件と2倍以上増えています。人件費の上昇に直面した企業は、販売価格の値上げや省力化投資といった従業員1人あたりの売上や生産性を高める工夫が必要になります。これで賃上げが出来れば、労働者の所得が増加し、消費が刺激され、経済全体が活性化します(資料3)。

少子高齢化を背景にこの先も人手不足が続くことが予想されている中で、企業の人手不足への対応と経済への影響に注目が集まります。

資料1 雇用判断DI(全規模・全産業)の推移



資料2 人手不足による倒産件数の推移



資料3 人手不足による経済への影響

